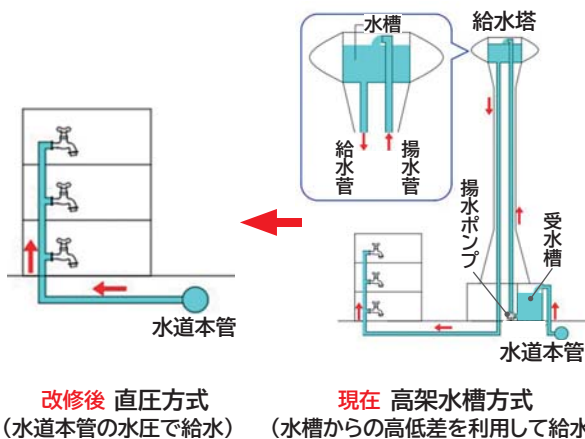


この塔は、平和団地に安定して水を送り届ける給水塔です。頂部に大きな水槽を設けており、ポンプで水をくみ上げ、高低差による重力を利用して各戸に給水する高架水槽方式による給水施設です。

表面に錆が浮き出ていますが、橋や鉄道などに使用されている特殊な鋼材を使用していますので、構造上



問題はありません。一見錆びているように見える表面の錆は保護性の錆であり、内部に侵食していくことはなく、この錆が鋼材を守り、長期にわたり性能を維持しています。

しかし、建設当時主流であったこの高架水槽方式も、毎年の点検清掃



や修繕等の維持管理費、また長時間の停電時には断水が発生することから、現在、水道本管の水圧のみで給水する直圧方式への切替え工事を進めています。団地内の全ての切替え工事の完了後、役目を終える給水塔は令和5年度に解体を行う予定です。

給水塔



昭和60年に完成した給水塔は、施設の役割上周囲で一番背の高い施設であり、約34mの高さがあります。これまで、西原地区のランドマークとしての役割も果たしてきました。